

健康・福祉関係

件名	子育て支援「明石モデル」について
内容	<p>白井市において「明石モデル」が、実施出来ない理由について教えてください。</p> <p>明石モデル→五つの無料化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医療費 2 給食費 3 保育料 4 遊び場 5 オムツ <p>明石市の結果</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 税込8年連続アップ 2 人口9年連続アップ 3 地価7年連続アップ 4 出生率アップ
回答	<p>市長への手紙をいただきありがとうございます。</p> <p>また、日頃より市政への御理解、御協力を賜りありがとうございます。</p> <p>お問合せいただきました子育て支援についてお答えします。</p> <p>いわゆる「明石モデル」のような取り組みは、本来であれば、人口減少社会における少子化対策として社会保障制度に位置づけ、国全体で取り組むべきものと考えます。長期的にみると、出生率や人口、税収の増につながっていくものと思いますが、そうなるまでにはかなりの時間を要し、無償化に伴う財源も必要となります。</p> <p>市としましては、限られた財源の中で最大限の効果が得られるよう、各種施策の充実を図ってまいりますので御理解・御協力のほどお願いいたします。</p> <p>なお、本市における子育て支援の現状については添付ファイルのとおりとなります。</p> <p>以下添付ファイル「白井市の子育て支援の現状」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医療費 <p>子ども医療費の助成については、0歳から中学3年生までの子どもを対象とし、通院、入院の自己負担額は所得額に応じて300円又は無料、調剤にかかる自己負担額については、無料としております。</p> <p>市では、平成28年8月に通院の助成対象を小学6年生から中学3年生まで拡大し、令和元年8月には、助成の要件としていた所得制限を廃止し、中学3年生までのすべての児童を対象とするよう対象者を拡充する制度の見直しを行っています。</p> 2 給食費 <p>学校給食費は、給食食材費分を保護者の皆様から御負担いただいたなかで献立を作っており、人件費や設備等の必要経費については公費で負担しています。</p> <p>なお、生活に困窮している御家庭は、就学援助の制度により、給食費が全額支給さ</p>

れます。

3 保育料

保育所保育料の多子軽減については、国の基準に従い判断、実施しており、現在のところ中核市を含む複数の近隣市においても、本市と同様の制度内容となっていることから、引き続き国の基準に従った多子軽減措置を実施してまいります。

4 遊び場

明石モデルで挙げられている施設のうち、白井市に該当する施設が市民プール及びプラネタリウムとなるため、2施設の状況について順にお答えさせていただきます。

市民プールの中学生以下の利用料金は、4歳未満の幼児は無料、4歳以上の幼児は100円、小中学生は150円となっております。

プラネタリウム館の高校生以下の一般投映料金は、市内110円、市外160円となっておりますが、小さな子どもがプラネタリウムを初めて訪れるきっかけ作り、また、小さな子連れの大人も気兼ねなくプラネタリウムを楽しむことができるように、「ひよこプラネタリウム」と「にんさんプラネタリウム with 図書館」は高校生以下を無料としています。

また、学校の理科天体学習の理解をより深めることを目的とする小・中学校の学習投映および、その一助を担う幼稚園・保育園投映は、市内団体は無料としています。

これらは市の子育て支援に関する取り組みとして必要と考える施策として、無料化を行っているものです。

5 オムツ

オムツを含む子育て用品の配布は行っておりませんが、令和2年度より新型コロナウイルス感染症の影響により、出産育児において普段と異なる負担が生じることが見込まれることから、その負担を軽減し、安心して出産育児できる環境づくりを進めるため生まれた子に白井市独自で10万円の給付を行いました。